

(9) プレイスメントプラザ

① 設置の趣旨（目的）及び組織

ア 組織設置の趣旨（目的）

プレイスメントプラザは、学生の就職指導・支援に係る企画及び実施並びに卒業・修了生への就職情報の提供その他就職支援に資することを目的とし、平成 27 年 4 月 1 日に設置された。

業務内容は、次のとおりである。

- i) 学生の就職指導・支援に係る企画及び実施に関する事項
- ii) 就職情報等の収集・分析・提供に関する事項
- iii) 卒業生・修了生への就職情報の提供に関する事項
- iv) その他、就職支援に関する事項

イ 組織の構成及び構成員等

プレイスメントプラザは、室長、特任教員及びその他必要な職員で組織され、室長は学長が指名した副学長、特任教員はプレイスメントプラザ所属の特任教授（キャリアコーディネーター）をもって充て、その他必要な職員として学生支援課所属の職員が配置されている。

② 運営・活動の状況

ア 委員会等の開催状況

教授会の専門委員会である就職委員会に、プレイスメントプラザ室長がオブザーバーとして出席している。令和 3 年度は、就職委員会は 5 回開催（書面審議を含む。）された。

イ 審議された主な事項

「就職委員会」の項参照。

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

就職ガイダンス、教員採用選考試験対策講座（入門編、基礎編、実力養成編、大学院教員養成強化研修、直前講座、直前実技指導・模擬面接）、学内模擬試験等の就職支援プログラムを計画的に実施した。

また、9月に就職研修（学部3年次生必修）を実施し、特任教授・学長特別補佐の講話、キャリアコーディネーターによる講座、現職教員や教員採用試験合格者の体験談等により、学生の教員就職に向けた意識を高め、採用試験準備の早期の取組を促すとともに、プレイスメントプラザ及び就職支援プログラムの利用促進を図った。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

教員採用試験対策講座等の就職支援プログラム、キャリアコーディネーターによる相談・指導、プレイスメントプラザ及び教員採用試験学習支援システムにおける就職情報の提供など、教員就職を中心とする就職支援の各種取組は大きな成果をあげている。

文部科学省が令和 4 年 1 月 31 日に発表した「国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の令和 3 年 3 月卒業者の就職状況」において、本学学部卒業者の教員就職率（大学院等への進学者及び保育士への就職者を除く。）は 87.9%で、国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）44 大学・学部中、第 1 位であった。本学が第 1 位となったのは、平成 13（2001）年 3 月卒業者以来 20 年ぶりであるが、9 年連続で 5 位以内を維持する結果となっている。